

Co-Labo

コ・ラボ

川口市男女共同参画情報紙

NO. 68
通巻

2023.3



川口市で実施した男女共同参画に関する市民意識調査を分析!

特集

「世代間ギャップ」とは？

～違いを認め、寛容の精神で～



Interview

医療法人社団Sunny理事長

若林 大樹氏

川口市で実施した男女共同参画に関する市民意識調査を分析!

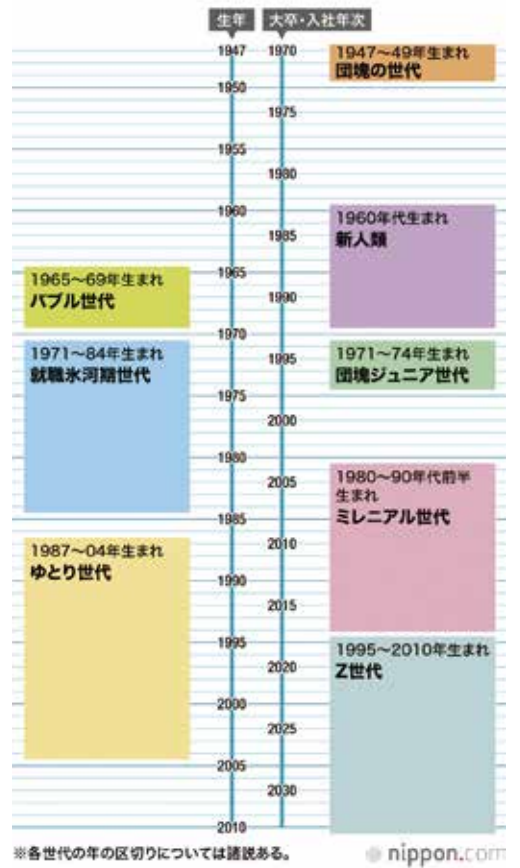
「世代間ギャップ」とは? ～違いを認め、寛容の精神で～

わたしたちは毎日、さまざまな「世代間ギャップ」を経験しています。例えばZ世代は「仕事はほどほど、大切なのは家族や趣味」と考える人が多い一方、団塊の世代では「仕事第一、残業休日出勤あたり前」などと公言してはばかりない人も少なくありません。どちらも正しいような、そうではないような…

このような世代による考え方の差は、生まれ育った時代やその社会状況や教育の違いによってどうしても生じてきます。これは人間が集団で生活をはじめた昔から存在し、いわば社会の宿命ともいえるでしょう。

今回特集として、この各世代を悩ます「世代間ギャップ」を取り上げました。具体的に職場と家庭を例に考えてみたいと思います。

あなたは何世代? 戦後の世代名一覧



出典: [Japan Date] 2022.5.11

■ 職場での世代間ギャップ

◎「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を知っていますか。最近、頻繁に**ひんぱん**に使われるようになりました。仕事と生活のバランスをとり、その両方を充実させる働き方、生き方のことです。ところが、これが世代によって受け止め方がちがいます。(グラフ1) 若年層ほど認知度が高く、高齢になるほど低い傾向です。

Co-Labo 編集委員に聞いてみました! 世代間ギャップを感じるのはどんなとき



「キャリアアップのため、職場を変えることはよくある。」と30代の息子から聞いて最初はびっくり。仕事も自己実現の1つであることが最近わかってきた感じ。

先輩との飲み会は朝までカラオケだったりしましたが、今は1次会で解散です。



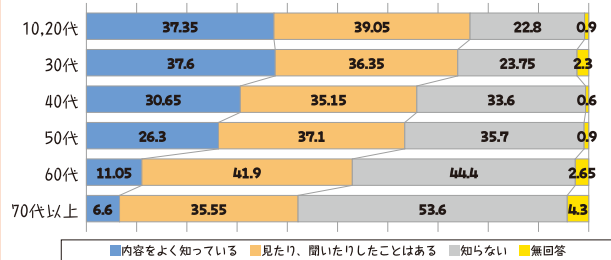
平均年齢が高い部署では、上司が仕事をしていると帰りにくい雰囲気があった。定時後に会議はやめて!

上司への遅刻の連絡をメールやLINEでしたら怒られた。

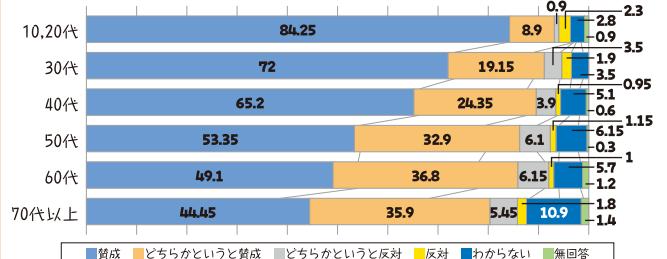


◎育児休業や介護休業についても世代によって格差が出ています。(グラフ2、グラフ3) 育児では若い世代の9割が賛成ですが、年齢が上がるほど低くなります。介護については、70歳以上よりも10、20代の方が賛成で、積極的なのは興味深いところです。

グラフ1 ワーク・ライフ・バランスの認知度

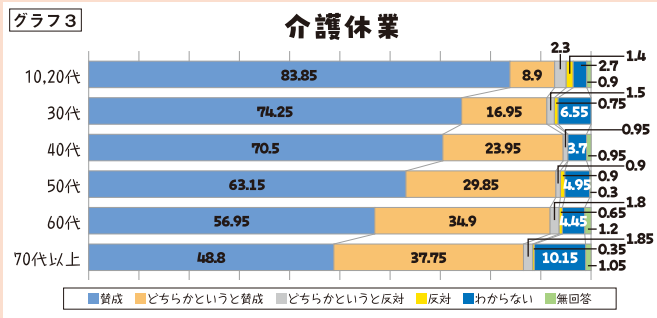


グラフ2 育児休業



令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査より

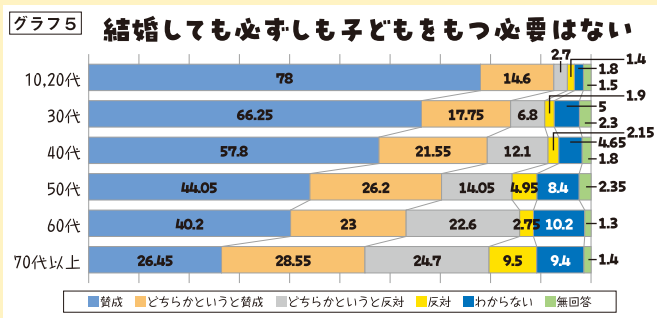
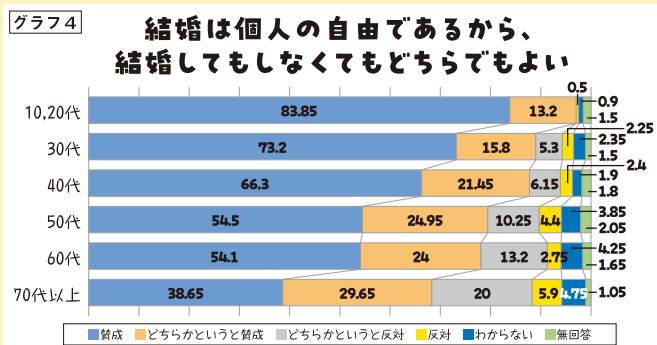
◎仕事一辺倒で突き進んできた団塊の世代と平成生まれのZ世代とのあいだに、考えかたの違いがあるのは当たり前です。主に時代背景がそうさせてきたわけですが、今は育児休業・介護休業ともに法的・社会的にも認められている権利です。休業取得を温かい気持ちで見守り、取得した人も感謝の気持ちをもつ…そんな職場をめざしたいものです。



令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査より

■家庭での世代間ギャップ

◎家庭での世代間ギャップといえば、結婚や子育て、家事をめぐって顕著に現れるイメージがあるのではないのでしょうか。例えば、「結婚をすべきか否か」という質問を集約したグラフ4では、若い世代ほど個人の自由であると答えています。その割合は年齢が高くなるほど低くなるのがわかります。他にも、近年は夫婦別姓の是非や同性婚、事実婚などの結婚をめぐる議論に多くの人に関心をよせています。結婚観は一昔前と比べて多様化しているゆえに、世代間ギャップを感じやすいかもしれません。また、生き方が多様化し、個人の意思が尊重される現代においては、グラフ5のように、子どもをもたない選択肢があることも、若い世代ほど理解が進んでいます。



令和3年度男女共同参画に関する市民意識調査より

Co-Labo 編集委員に聞いてみました！ 世代間ギャップを感じるのはどんなとき



独身なのですが、高齢の親戚に会うと、なにかと心配されたり、親不孝と言われるます。



若い人は次々と新しいモノに買い替えるのですが、年配者はいつか使うかも知れないからと処分に躊躇します。その結果、口論になり家の中は片付きません。

勉強している子ども達がタブレットやスマホを駆使しているのを見て、自分の学生時代とは明らかに勉強の仕方が変わっているのだと感じて複雑な気持ちになります。



家庭では若い人は年配者の意見を、基本あまり聞く必要はない。自分の人生は自分で決めましょう。



社会全体として変革が求められている職場に対して、家庭はごく個人的な空間であるだけに、職場よりも年長者の意見・主張が大きな声となりやすいもの。世代間ギャップを考える上では、誰しもが当事者であり、たとえ誕生した年が数年違うだけでもギャップは生まれうるのだと意識することが大切です。

■まとめ

さまざまな世代間ギャップを見てきましたが、最後に、ギャップを感じる瞬間、それが本当に「世代」によるものなのか、ぜひ考えてみてください。例えば、毎年成人式で羽目を外す若者たち。自らの時代を顧みて、「今時の若者は…」と揶揄することができるでしょうか。あるいは、口うるさいと感じてしまう親や上司。経験の多さゆえに人生の後輩に口を出してしまうのは、誰にでもあることです。誰かと話して感じる違和感は、「世代」ではなく、「年齢」の違いによるものかもしれません。これについては、自分自身の通ってきた道、いずれ通る道として、寛容さを持つことが大切です。

時代とともに価値観が目まぐるしく変わる中、子どもからお年寄りまで、すべての年代の人々が同じ価値観を持つことはできません。世代や年齢による違いがあるのは当然です。そして、それらの「違い」は必ずしも否定されるものではありません。時には軋轢が生じるかもしれませんが、違いがあることを認めた上で、お互いに尊重し、歩み寄る心持ちを忘れないようにしたいですね。さまざまな多様化が言われるなか、いまこそ男女共同参画プラス「若年熟年共同参画」の精神が求められています。

365日・年中無休で毎日診療

パパ・ママ・地域の医療IQを上げたい

子どもに関する事ならどんな悩みでも迷わず相談してほしい

今回は、Sunny キッズクリニックの理事長兼院長

若林大樹さんにお話を伺いました。



埼玉高速鉄道の川口市内各駅に寄贈されるTrim(株)製ベビーケアルーム「mamaro(ママロ)」

医療法人社団 Sunny 理事長

WAKABAYASHI DAIKI

若林 大樹さん

◆365日子どもを持つ家庭をサポートしたい

2020年12月に小児科クリニックであるSunny キッズクリニック（戸塚安行院）を開院、続いて2022年2月に病児保育室Sunnyを開設しました。

出身は川口市ではありませんが、首都圏で開業を考え候補地を選定している際に、戸塚地区に住むご家族が公園で楽しく笑顔で遊んでいる姿や、小児科が不足しているという地域の現実を受け、「ここで小児科を開いて地域医療に貢献したい！」と心が決まりました。

開業にあたっての必須条件は、土日も休まず365日・年中無休で開院しているクリニックにすること。受診の敷居が低く、不安をすぐに相談できる事。

平日しか受診できないクリニックでは、共働きの家庭にとってはどうしても不便です。また子どもは休日こそ容態を崩しやすく、その際にすぐに診てもらえる小児科が見つからないという問題もあります。毎日クリニックを稼働する事は大きなチャレンジでしたが、地域に密着した毎日診療するクリニックを作ることができれば、子育て世代のサポートになり、「川口ならもう一人子どもを産んでも大丈夫。」と考えられるような社会を創ることができ、微力ながら少子化問題にも貢献できるのではないかと思います。

◆すばらしいスタッフと良縁に恵まれて

開院当初は10人に満たないスタッフで頑張っていました。今は40人まで増えています。医師も自分1人だったため、3~4か月の間ほぼ毎日診察にあたり、休みはありませんでした。しかし、日に日

取材を終えて

まさに必要な場所にありがたいクリニック（病児保育室）を作ってください、近隣住民として頭が下がります。医師として毎日多忙にもかかわらず、意欲と信念を高く持って新しいことに挑戦していく姿勢に、一人の人間として感銘を受けました。

東京都生まれ、2012年慶應義塾大学医学部を卒業。毎年のように骨折していた少年期、親身になってくれた整形外科医に憧れ、スポーツ医療の道を志す。研修医のときに、入院していた子どもの回復力や日々元気になっていく姿に感動するとともに、自身の子ども好きも重なり、小児科医になることを決意。趣味は筋トレで、雑誌「Tarzan」の表紙を務めた経験がある。

にクリニックの理念やビジョンに賛同してくれる医師やスタッフが増え、今は多くの仲間にも恵まれています。スタッフの成長や患者さんからの感謝のお言葉などが、自分自身の喜びや原動力になっています。

◆子どもと筋トレが好き！

目指すは「日本一マッチョな小児科医」

2023年夏、現在建設中のプラウドタワー川口クロス（複合再開発タワー）に、365日・年中無休のSunnyキッズクリニック（川口駅前院）が開院予定です。戸塚安行院と同じく、病児保育室も併設します。また、埼玉高速鉄道線の浦和美園駅から川口元郷駅まで、すべての駅に授乳室の寄贈を進めています。

開院から2年、クリニック初の育児休業を取得したのは男性看護師です。彼は「男性である自分が率先して取得することで、次のスタッフが気兼ねなく育児休業を取得できる職場にしたい」との思いから1年間の育児休業を取得し、現在子育てに奮闘中です。今後も男女問わず、産休、育児休業を積極的に取れる職場の環境づくり、リモートワークなども導入し、復職がしやすい職場を作ればと思います。スタッフが皆、得意なことが活かして日々成長できる組織であるために、私自身も自己研鑽に努めて参ります。





川口ハイウェイオアシス

首都高初のハイウェイオアシスが川口に！



埼玉県川口市赤山501-1

問い合わせ先／公園：048-242-6337（平日） 048-297-8572（土日・祝日）
レストラン・カフェ・売店 048-294-4811 屋内外遊び場 048-420-9780

「イナパーク川口」と隣接する形で、2022年4月に誕生。高速道路の利用者だけではなく一般道からも入場できます。中に入ると、レストラン・カフェ・売店の設備も充実しています。その他に、親子で楽しめるASOBooN（アソブーン）という関東最大級の屋内外遊び場もあります。川口といえば鋳物。レストランで出されるご飯は鋳物の羽釜の炊き立て。川口を知る新たなきっかけとなりそうです。



※ハイウェイオアシス…高速道路の休憩施設と都市公園などと一体的に整備して、都市公園などの利用促進を図る施設。

- ☆営業時間 ・公園 9:00~18:00（受付時間 8:30~17:15）
- ・レストラン・カフェ・売店 7:00~21:00
- ・屋内外遊び場 10:00~17:00（平日） 定休日：火曜
- 10:00~18:00（土日・祝日）



自由で多様化する女性の人生、女性の生き方

母親になって後悔してる

オルナ・ドーナト著 新潮社

ドキッとするようなこのタイトル。世界各国で読まれ、最近、日本でも訳書として出版され話題を集めています。著者はイスラエルの社会学者。これまでは「女性は子どもを産み、育てることが一番の幸せ」とされてきたが、こうした性別役割分担意識からタブーとされ見えなかったものが、本書によって見えてきます。子育てによる負担と、子どもがいない自由を比べると、たとえパートナーが子育てに協力してくれたとしても苦労は軽減できないだろうと。女性の生き方が多様化している現代において、少子化問題を根本から問い直し、対策を考えるのに参考になる一冊だと言えるでしょう。



三千円の使いかた

原田ひ香著 中央公論新社

『財布は踊る』『はじまらないティータイム』の著者による家族小説。第1話から第6話まで、さまざまな世代の女性を一人ずつ主人公にして「女の人生、どう貯めて、どう使う？」を考えていきます。結婚、子育て、入院、離婚、老後と女性のライフステージには多くの問題が起こり、悩みは尽きません。二人の娘の母親である智子は、バブル期にいわれる“OL”と呼ばれめぐまれた時代を謳歌しますが、晩年は夫との関係に疑問を感じます。身近で具体的なだから気楽な気持ちで読み進めることが出来ます。いつの時代も、女性がかかえる悩みは尽きず、マンションを求める苦労や子育ての悩みは変わらないようです。「人は三千円の使い方人生が決まるよ」で始まる本書は、どこを読んでも我が身に置き替えて読むことが出来ます。



注目される最低賃金！

働く人に支払われる賃金は、47都道府県ごとに最低額が決められています。物価高が続くもとで、今年の最低賃金がいくらになるのか注目されていました。中央最低賃金審議会が目安額を決め、その額を参考に、都道府県ごとに最低賃金審議会が地域の実情に見合った賃金額を決定します。

これまで毎年わずかな増額でしたが、去年と今年はこれまでにない大幅なアップ額となりました。今年の場合、特に注目されるのは全国平均31円のアップ額となったことに加え、目安額を上回った地域があったことです。二年続けて大幅アップとなった最低賃金ですが、地域間格差は残されたままです。埼玉県の場合、対前年比31円アップで時給987円となり、全国で4番目の高さとなりました。（令和4年10月1日現在）

知っていますか？
自分の最低賃金

埼玉県 最低賃金
987円

※令和4年10月1日より

▲31円UP

会社員、パート、アルバイト、学生、主婦、高齢者など、働くすべての人へ。誰もが納得の給与設定を！

※最低賃金は、働くすべての人の生活の安定を促す重要な要素です。

厚生労働省 | 労働基準局 | 労働基準監督署 | 労働基準法 | 労働契約法



教えてきゅぼらん!

子どもの疑問を解決! なぜなに相談コーナー 5歳の女の子からの質問に答えよ!

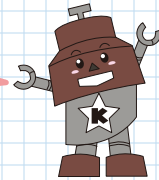


『産後パパ育休ってなに?』



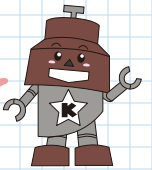
わたし、このあいだ弟が産まれて、おねえさんになったんだよ!

おめでとうきゅぼー



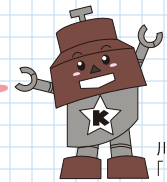
ママが病院に入院している間、パパが仕事を休んでおうちにいてくれるからさみしくないよ。ママが帰ってきたら、パパも赤ちゃんのお世話するってはりぎってるよ! でもね、パパが仕事を抜けれないときがあって、2週間だけまた仕事するんだって。

仕事も赤ちゃんのお世話もできるようにする産後パパ育休というしくみきゅぼ



パパはお家で仕事する時もあるって言ってたよ。

会社と相談しているんな働き方ができるようになっているきゅぼ。家族だけじゃなく社会全体のみんなで子育てできるといいきゅぼね。



川口市マスコット「きゅぼらん」



わたしもお手伝いががんばるね!

参考サイト(厚生労働省): <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000130583.html>

産後パパ育休:「通常の産休とは別に」子供が産まれて8週間以内に4週間まで取得可能な育休制度。あらかじめ申請の上で柔軟に休暇を取得することができる。

セミナーREPORT!

こんなセミナー行ってきました!

編集委員レポート

川口市男女共同参画キャリア共セミナー

マイキャリアプランセミナー

～自分らしく働くために～

令和4年10月20日(木) 10時30分~12時00分

会場:かわぐち市民パートナーズステーション会議室

主催:川口市・川口の男女共同参画を考える会

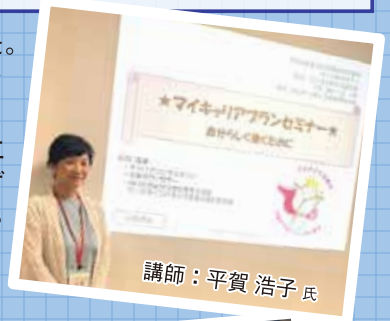
今回は、キャリアコンサルタントとして活躍中の平賀浩子さんのセミナーに参加してきました。ご自身の歴史を紐解きながら、ライフプランニングに欠かせない福祉の現状について、外国と日本との違い、さらに川口市の実情にも触れて、分かりやすくお話くださいました。自分らしく働くためには、まず自分がどうしたいのか、趣味や人生の目標も実現するという両立のためには、ライフイベントを整理してプラン化するとよいそうです。年齢や環境に左右されず働き続けるためには資格取得が有効ですが、まずは簡単なものやパソコン、語学から始めてみることもお勧めとのことでした。

さて、そんな平賀さんも何度か大きな転機があったとのことですが「諦めないことが大切」「人生に正解はない」と力説しておられます。ちなみに尊敬する人はムーミンママだそうです、とても気さくで優しい印象の方です。

参加者にはお子様連れも。ゲストを迎えたトークでは笑いもあり、活発な意見交換がされました。

受講者の声

はじめてセミナーに参加してみて、漠然と頭で考えていたことを計画メモにアウトプットできてよかったです。



講師:平賀 浩子 氏



市役所からのお知らせ

川口市「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテスト

令和4年度

受賞作品の発表



「初節句 ひいジジ、バアバと一緒に歩けるかな！」



「おてっだいする～」

優秀賞



「新 盆」



「パパと初めての留守番」



「おつまみを食べながら、ちょっと1杯♡」

カラフル
COLORFUL ふえすた
特別賞



「投力アップ教室」

カラフル
COLORFUL ふえすた
特別賞



「ぜったい はなさないぞ！」

きゅぼらん
賞



「母ちゃん上手に撮れたかな？」

Kawaguchi News Report

○DVに関する相談先

川口市配偶者暴力相談支援センター

窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です

☎ 048-299-8162

女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

その他の相談先

川口市役所 市民相談室 ※法律相談、ファミリー相談等(予約制)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	☎048-259-9037 ☎048-259-9038
最寄りの警察署(生活安全課)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	川口警察署 ☎048-253-0110 武南警察署 ☎048-286-0110

緊急の時は110番!

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDVといいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 何を言っても無視する | <input type="checkbox"/> 性行為を強要する |
| <input type="checkbox"/> 交友関係を制限する | <input type="checkbox"/> 生活費を渡さない |
| <input type="checkbox"/> 避妊に協力しない | <input type="checkbox"/> 暴言を吐く |

☑(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。一人で悩まずに、まずはご相談ください。

男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。協働推進課にお問い合わせください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>



事務局

川口市 市民生活部
協働推進課

〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階
TEL 048(227)7605 FAX 048(226)7718

編集後記



市民編集委員

鈴木・田中・中尾・中俣・沼尾・三山・山谷
※五十音順

◆確実な世代の進化アップを感じ、寛容さを持つこと。出来ているようで、出来ていないことに気づきました。(中俣) ◆魚へんに春と書いて「鱈」(さわら)。春が旬の魚です。焼いてよし、煮てよし、揚げてよし、刺身よし。脂がのって旨いけど、体重計が怖い。(山谷) ◆ジェネレーション・ギャップで対話が減らないように、コミュニケーションを楽しめたら良いのに。(中尾) ◆ハイウェイオアシスは、立地の特色を生かしたり子育てにつながる施設など、新しい視点があることが取材を通して気づきました。(沼尾) ◆特集記事を担当するなかで、良い意味で時代に流されていく、しなやかさを持ちたいと思いました。(三山) ◆編集会議では、自分では当たり前だと思っていることが世代が異なると違和感になると言うのを目の当たりにして大変勉強になりました。違うことを受け入れ合う人であろうと思います。(鈴木) ◆寒い日が続きますが、読んだ市民の方がちょっと明るくなり、さ、出掛けるかと思っただけのような紙面になっていたらいいと思います。春はすぐそこですね。(田中)